



『ごみは宝の山』  
大切な地球への企業努力

- 活動時期 → 年中
- 活動場所 → 高知県
- 主な活動メンバー → 社員

【ホームページ】  
<http://www.yasuoka-j.co.jp/>

（取り組み内容）

◆環境汚染の防止

- ・ 廃棄物の適切な処理（焼却・破碎・埋立）
- ・ 油分の排出防止
- ・ 廃棄物から再生資材を作る
- ・ 運用維持管理基準の遵守

◆省エネルギー、省資源の推進

- ・ 電気使用量の削減  
エアコンの適正温度設定、空室のエアコン電源オフ、  
昼休みの電灯消灯、産業廃棄物の電気使用量削減、など
- ・ 燃料使用量の削減  
アイドリングストップの実施、燃費の目標設定

◆緑化の推進

- ・ 産業廃棄物として運ばれてきた樹木のリサイクル
- ・ 植樹の推進
- ・ 木質チップの堆肥化（発酵菌入り）商品名「すくすく1号」

◆地域環境美化活動

通常業務として会社とその周辺を清掃するとともに、地域の清掃ボランティア活動にも積極的に参加し、地域の環境美化に努めている。



清掃終了！



地球に配慮した解体工事の実践



堆肥化した木質チップ「すくすく1号」



清掃活動の実施

## ◆3R (Reduce, Reuse, Recycle : リデュース、リユース、リサイクル)

解体された建設副産物は、当社施設においてリサイクル材又は、廃棄物処理法に基づいて適正に処理。より環境負荷を低減する方針を運用している。

(廃棄物の再利用例)



玄関部分



鉄骨主材部分



下水管と地下水の  
廃熱利用



廃棄物の草木



外装も廃材利用

## ◆取り組みの流れ

- ①産業廃棄物の排出
- ②収集・運搬(排出場所から処理施設へ)
- ③再利用(リサイクル)できるものは再利用
- ④さまざまなアイデアで廃棄物を有効活用
- ⑤リサイクルできないものは中間処理
- ⑥最終処分(生活環境や自然を損なわないように自然界に戻す)

## ◆取り組みの成果

- ・高知県内の産業廃棄物最終処分場では業界初のISO14001を取得。
- ・最終処分場への見学者受け入れ
- ・高知県の環境配慮型事業所に認定



高知県認定 環境配慮型事業所への掲載

## ◆取り組みを進めるためのポイント

- ・ごみは宝の山。まずはリユース、次にリサイクル。価値のあるうちは使い、それでもだめなら捨てる前に価値を判断してから捨てるようにする。

## ◆取り組みに対する想い

- ・物が無い、貧しい時代に育った人間にとって、今は実にもったいない“ごみ”が多すぎる。解体工事の後にでる樹木も命を全うさせたい。
- ・産業廃棄物の汚いイメージを脱却したい。
- ・ごみの行方に関心を持ってほしい
- ・スローライフで安定した生活の仕組みをどうやってつくるか。何を求めどうあるべきか。自分が生をまっとうするまでCSR(社会的責任)を考えていきたい。

(平成21年10月現在)